

## 優しい心 ・ 発信



ショウブ

花言葉・・・「優しい心」

校長 山浦 麻紀

新年度がスタートして早いものでもう1ヶ月が過ぎます。ショウブの凜と立つ茎と、さわやかな色彩でつぼみ膨らむ姿は、まさに本校の生徒たちのように感じます。

4月11日（土）の学校公開（授業参観・懇談会）には、多数ご参会いただきありがとうございました。様々な行事等が矢継ぎ早に行われたあわただしい4月でしたが、生徒達は新しいクラスにも馴染み、落ち着いて活動に取り組んでおります。子どもたち、一人ひとり、よく頑張っています。先生方にも感謝しています。

本校は、毎年、生徒会と生活委員が朝の登校時に「あいさつ運動」を展開しております。挨拶はとても不思議なもので、全然知らない間柄でも、言葉（日本語）の通じない相手でも、その心を開かせる大きな力を持っています。知らない土地に出かけた旅先などで、「お早うございます」「こんにちは」等の挨拶をすると難しい表情をした人も、にっこりと顔を綻ばせて挨拶をしてくれます。これは、意思伝達機能としての言葉が、その意味を離れ、言葉を交わすことによってお互いの人間関係を円滑にする、いわば潤滑油のような働きをするからです。挨拶の効果は、挨拶を交わすことによって、「相手と親近感を抱くことができる。さわやかな気持ちになれる。」ことではないでしょうか。そして、私は、昨日も近隣の方からお褒めの言葉を頂きました。

**「岸中学校の生徒さんのあいさつは、カッコイイです。自分の子どもも通わせたいです！」**

私も、とても嬉しく感じました。まさに、本日五月晴れ！といった気持ちになりました。

ところで、始業式・入学式・朝礼時の皆さんとの約束・お願いは、『美しい心』を発信して欲しい」、具体的には、「人間一人ひとりを大切にしたい」・・・ということでした。さて、クラスの友達を大切にしていますか？部活動の先輩や後輩を大切にしていますか？家族を大切にしていますか？そして、自分自身を大切に・・・していますか？

**人間誰にでも、必ず、良さがある。合わせて不得手なこともある。相互に不足さを責めるのではなく、よさを認め合い、不足さを補い合い・・・さらに『美しい心』そして、『優しい心』を発信し、笑顔溢れる質の高い集団を目指していきたいと思ひます。**